

よむ

News from
Inabe City
Council

No.75

ギカイ

いなべ市議会だより / 令和4年 / 9月定例会

一般社団法人いなべ市観光協会主催
第5回いなべ市観光写真コンテスト
受賞作品
「黄金色に輝く」平井正喜さん

P2～ 決算をチェック

P6～ 予算編成に向け市へ提言

P8～ 9月定例会のようす

P12～ 一般質問

P19 市民の声



令和3年度決算をチェック

令和3年度決算

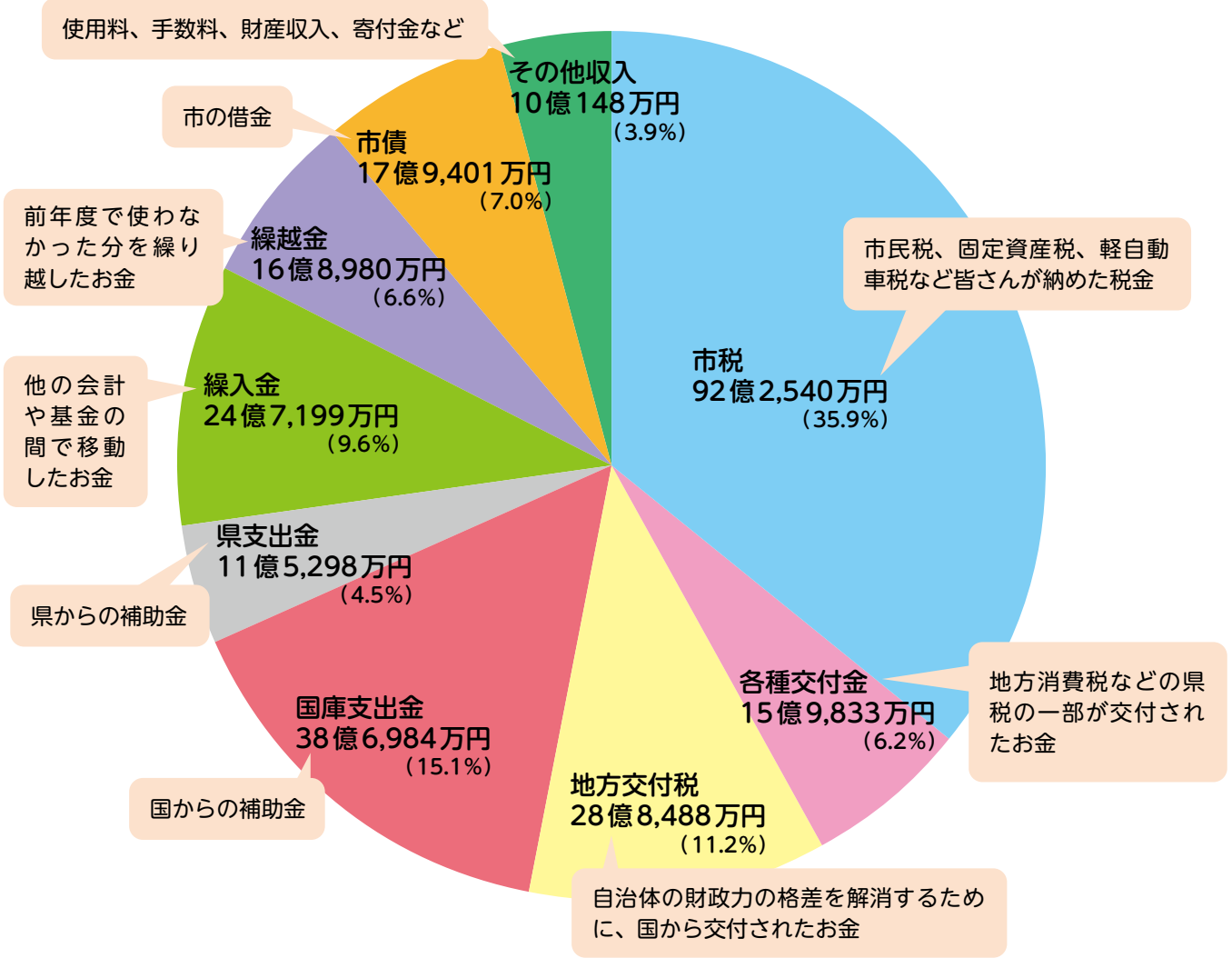
定例会のようす

一般質問

市民の声

一般会計

歳入総額 256億8,870万円(前年度比13.6%減)



※数値については、原則として単位未満で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

特別会計の決算状況

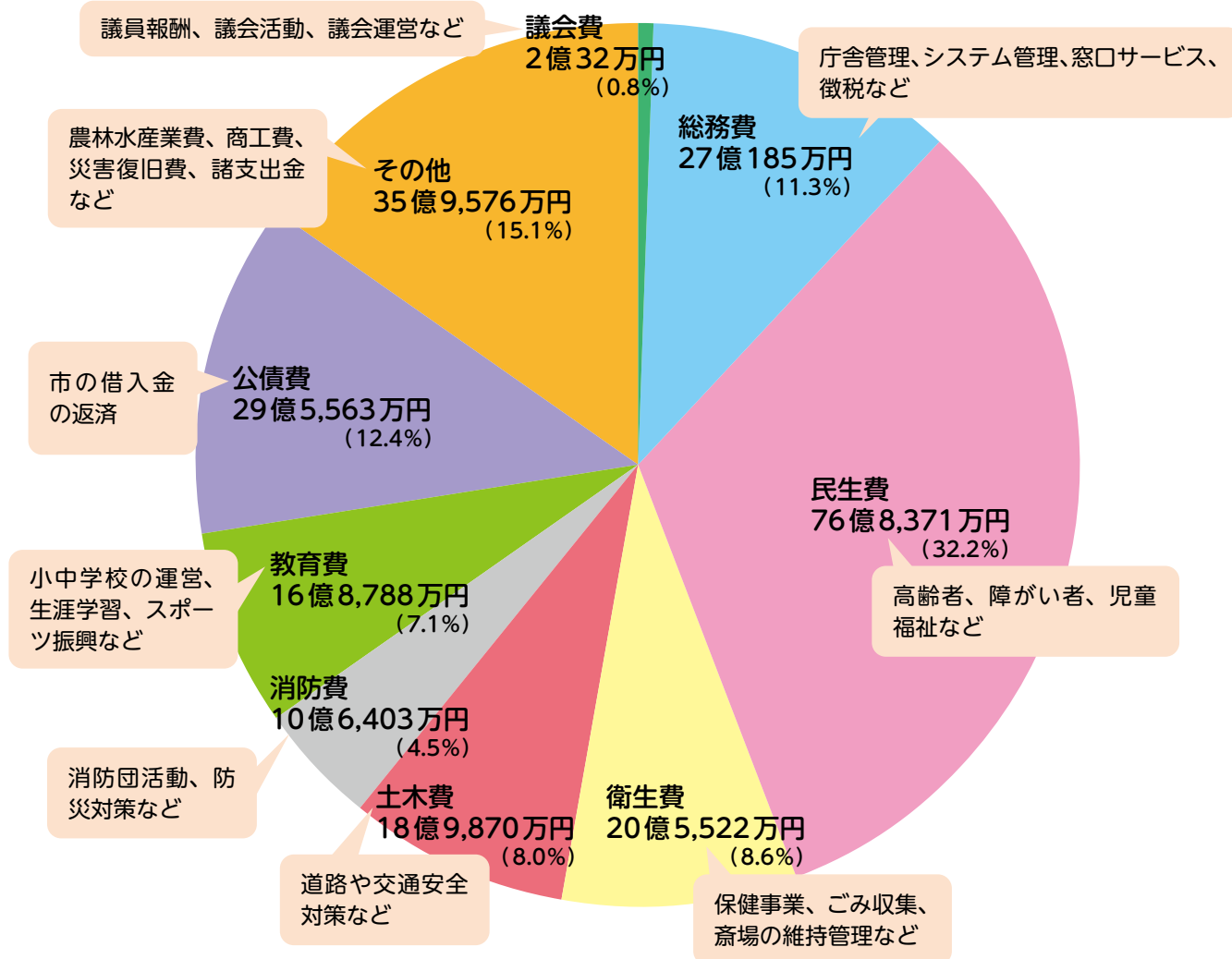
区分	歳入決算額	歳出決算額	一般会計からの繰入金	一般会計への繰出金
国民健康保険	45億 178万円	44億2,785万円	3億8,499万円	0
後期高齢者医療	10億4,885万円	10億3,248万円	5億9,427万円	1,599万円
介護保険	42億9,257万円	40億 123万円	6億6,108万円	6,425万円
合計	98億4,320万円	94億6,157万円	16億4,035万円	8,023万円

企業会計の決算状況

区分	収入	支出	一般会計からの補助金及び出資金	
水道事業	収益的収支	10億5,229万円	9億7,857万円	1,589万円
	資本的収支	2億2,144万円	5億7,141万円	1億1,500万円
下水道事業	収益的収支	18億5,992万円	14億9,422万円	9億5,420万円
	資本的収支	4億4,906万円	12億 376万円	2億3,292万円

令和3年度の決算は予算決算常任委員会総務経済分科会および都市教育民生分科会で審査し、9月28日の本会議で、すべての決算が認定されました。次ページでは令和3年度の主な事業を掲載しています。

歳出総額 238億4,309万円(前年度比14.9%減)



監査委員による一般会計・特別会計の決算審査意見書(抜粋)

令和3年度の象徴的な事業の一つである新型コロナウイルスワクチン接種事業については、三重北医療センターいなべ総合病院を集団接種会場として5月24日に高齢者接種から一般対象者へと順に開始された。

また、世の中のデジタル化推進への転換期を迎え、マイナンバーカードは当市独自のマイナポイント活用促進プレミアムポイント付与事業も実施し、カード普及率は県下1位となり、小中学校においてはICT教育の環境整備が実施され、学校と家庭の両方とでオンライン学習が可能になった。防災安全交付金を積極的に活用し、歩道整備や道路改良などが進められた。

自動車関連企業の業績に大きな影響を受ける当市の税収入については、資源高など不透明な世界経済情勢により予測が困難ななか、令和4年度も市民温水プール、宇賀溪キャンプ場、野遊び推進、道路改良及び橋梁整備などの大規模な事業が実施されるほか、今後数年間は30億円を超える公債費の償還もあるため、今後は厳しい財政状況が見込まれる。こうした状況を踏まえ、費用対効果の観点から事務事業の見直しを絶えず行うとともに健全な財政運営を引き続き実施し、税負担における公平性の観点から、現在の高い徴収率を維持できるよう納税者の理解と協力を得て取り組むことを期待する。

総務費

マイナポイント活用促進プレミアム ポイント付与事業 2,809万円

マイナンバーカード交付 5,579枚
交付率 56.65% (累計)

コミュニティ活動推進事業 5,877万円

広報の配布、地域の環境衛生に関する事業を委託した費用
自治会加入世帯数 11,886世帯
(市内全世帯に対する自治会加入率 63.1%)



プレミアムポイント第1弾チラシ

民生費

障がい者グループホーム整備補助事業 8,304万円

民間事業所が整備する費用の一部(1床あたり500万円)を補助した費用など

子育て世帯・ひとり親世帯臨時特別 給付金事業 7億2,631万円

コロナ禍の影響を受ける子育て世帯への臨時給付金
対象延べ児童数 7,436人



令和4年2月に完成した、障がい者グループホーム「バンブーハウス」

衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種事業 5億1,188万円

接種者数	接種率
1回目 37,092人	81.7%
2回目 36,584人	80.6%
3回目 16,254人	35.8%

ごみ収集事業 1億8,964万円

	もえるごみ	資源ごみ
令和3年度	7,080 t	747 t
令和2年度	7,341 t	688 t



集団接種会場 (いなべ総合病院)

農林水産業費

農作物有害鳥獣対策事業 2,370万円

有害獣捕獲駆除数
サル：191頭 シカ：539頭 イノシシ：46頭
(わな捕獲：742頭・銃駆除：34頭)

農業基盤整備事業 7,881万円

農業用水を安定供給するため、自治会要望を受け
用水路の整備、改修を行った



片樋ゴム堰改修工事

令和
主な

商工費

ふるさといなべ応援事業 1,611万円

ふるさと納税返礼品

事業者数	返礼品目	納税件数	納税金額
51	155	1,007件	3,597万円

観光施設整備事業 4億1,262万円

東海自然歩道の保全管理、宇賀溪キャンプ場整備など



宇賀溪キャンプ場 (Nordisk Hygge Circles UGAKEI)

消防費

消防水利整備事業 2,068万円

防火水槽撤去	3件
消火栓新設 (移設含む)	4基
消火栓修繕	9基

消防団施設整備事業 7,673万円

小型動力ポンプ付積載車1台、消防ポンプ付大型水槽車1台を購入



購入した消防車両

土木費

都市公園管理事業 1,785万円

いなべ公園の維持管理に要した費用
入園者数59,430人

道路橋梁維持補修事業 2億4,616万円

自治会要望で修繕を行った箇所	
道路の維持修繕	91箇所
道路灯の維持修繕	44箇所
道路舗装の維持修繕	46箇所



いなべ公園のお花見広場

教育費

学校ICT事業 7,296万円

児童生徒へのタブレット端末、デジタル教科書、デジタルコンテンツの運用保守と小中学校15校へICT活用支援を行った費用

市民温水プール建設事業 7,547万円

令和3年度は設計業務を行った。令和6年3月完成予定



ICTを活用した授業

予算編成に向け市へ提言

総務経済分科会

【事業名】生活道路網の整備（社会基盤施設整備促進事業、県単道路改良事業、道路台帳整備事業、道路橋梁維持補修事業、簡易パーキング管理事業、社会資本整備総合交付金事業、防災・安全交付金事業、市単独道路改良事業、道路メンテナンス事業）

【評 価】改善し継続する

【提言（抜粋）】市民の生活に欠かせない道路整備が施工され、市民ニーズ（自治会要望）に適切に対応されたことを評価する。一方、自治会要望が出されにくい市境、山間道路で重大事故が起きていることから、危険箇所での施工優先については更に検討が必要である。道路パトロールで異常が発見された場合に、より迅速に対応いただきたい。

【事業名】集落を基軸にした担い手への支援（農業振興事業、経営体等育成支援事業、中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払交付金事業、経営所得安定対策推進事業）

【評 価】改善し継続する

【提言（抜粋）】本事業の多くが国及び県からの補助金、交付金を活用した事業であり、事務の執行は適正に行われたと評価する。農業、農地を取り巻く環境は大きく変化しており、就農者の高齢化、担い手不足、耕作放棄などの問題及び課題を具体的な対策につなげる必要がある。また、人・農地プランが掲げる目的、目標を鑑み、多面的機能支払において、参加組織数が更に増加するよう、事務作業の支援及び活動の相談支援を行うなどの工夫が必要である。



分科会評価のようす



新規就農者との意見交換会

【事業名】行政運営の充実（元気みらい都市いなべ推進事業、新規事業等事前調査事業、SDG s 未来都市推進事業、ふるさといなべ応援事業）

【評 価】改善し継続する

【提言（抜粋）】元気みらい都市いなべ推進事業は「全世代で、年代に合った運動等を実施し、年代に合った健康データ等の取得及び分析をPDCAサイクル化することで、判断力の向上や運動能力の向上、健康増進などを図る」として、平成31年度（令和元年度）から令和3年度まで3か年計画で事業が実施された。事業総額（3か年）7,484万円であったにもかかわらず、令和3年度総合計画・総合戦略事業取組経過報告書に記載された本事業の目標達成率は、全4項目中2項目が「判定不能」であり、2項目が「進まなかった」と判定された。これらの結果を踏まえ、本事業に対する分科会の評価は、問題があるとの結論に至った。

今後、本事業によって得た成果を、いなべ市が取り組む健康増進施策及び介護予防施策に最大限反映させる必要がある。

SDG s 未来都市推進事業は、現時点で市民に広く周知された事業とは言い難い。本事業が「災害対策」「災害対策」「少子高齢化対策」に、どのようにつなげようとしているのか、より多くの市民が理解し参画できるよう努める必要がある。

令和3年度決算審査において、市が実施した565事業の中から「生活道路網の整備」「集落を基軸にした担い手への支援」「行政運営の充実」「青少年の健全育成の推進」「健やかな体の育成」の5つの事業を選定し、評価・検証を行いました。評価結果を議会の意見として決議し、次年度以降の予算編成に向けて市へ提言しました。



議長から市長へ決議を提出

都市教育民生分科会

【事業名】青少年の健全育成の推進（青少年健全育成市民活動事業、二十歳の記念式典事業、放課後子ども教室事業、教育集会所管理事業）

【評価】改善し継続する

【提言（抜粋）】青少年健全育成市民活動事業が形骸化、恒例化していないか、第2次いなべ市総合計画及びいなべ市教育振興ビジョンに記載されている事業の趣旨を再認識した上で見直しを行うべきである。

放課後子ども教室事業は、休日及び長期休暇の子どもの居場所を確保するため重要な事業である。参加者のニーズを細かく把握し、事業が展開されていると評価する。放課後子ども教室「ほくせい」の主な実施場所である北勢福祉センターに代わる場所確保が今後の大きな課題であり、解決を図りたい。また、運営主体である団体は、できるだけ多くの子どもが事業に参加できるよう、地域へ出向いて事業を行うなど新たな取組を試みている。多様な環境に置かれている子どもが、それぞれ関心がある教室に参加できる事業にする必要がある。

いずれの事業も、未来のいなべ市を担う大切な子どもたちの成長に必要な事業であり、限られた予算であるが、最大の効果が得られるよう、事業内容を工夫されたい。



青少年育成市民会議との意見交換会

【事業名】健やかな体の育成（就学前健診事業、楽器寄附受入事業、体力向上プログラム事業、冒険の森整備事業、学校検診事業（小学校・中学校）、部活動振興事業）

【評価】改善し継続する

【提言（抜粋）】就学前健診事業は、小学校入学に向け、児童の状態を把握する重要なポイントになる。このことを踏まえ、受診は任意となっているが、外国籍児童及び転入児童等の取りこぼしがないよう取り組まれない。

体力向上プログラム事業について、学校教育におけるコーディネーショントレーニングによって得られた位置づけ、目的、成果が明確ではない。学校教育において実施する意義、成果、課題及び問題点を示されたい。

学校検診事業（中学校）は、学校保健安全法第6条に基づく検査項目に、近年、近隣市町において対応され始めたピロリ菌検査を加えるよう検討を始められたい。



分科会で評価

【評価】は5段階「1廃止・休止する」「2縮小する」「3現状のまま継続する」「4改善し継続する」「5拡充する」今回はすべて「4改善し継続する」でした。

9月定例会

(8月31日～9月28日)

補正予算や条例の制定などを含む37議案を審議

令和3年度決算

定例会のようす

一般質問

市民の声

旧ふじわら作業所 **全会一致で可決** と旧たんぽぽ作業所 **賛成多数で可決** を無償譲渡

旧ふじわら作業所は特定非営利活動法人快生^{かいせい}^{せいきょうがくかい}、旧たんぽぽ作業所は社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会へ、行政財産の有効活用を図るため無償譲渡するもの

質疑 **Q** 譲渡先を特定非営利活動法人快生^{かいせい}^{せいきょうがくかい}に決めた理由は。

A 令和2年度から「ハートキャッチいなべ」や「地域の縁がわ えんむすび」、認知症の家族の方の「おれん家“カフェ”」など誰が訪れても良い、開かれた場所を展開している。令和3年度からは訪問介護、令和4年度からはデイサービスも実施している。

Q 社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会はどのような事業を展開する予定か。

A 現在は同じ敷地にある施設に通所している方の休憩場所として使っているが、今後は検討中である。



旧ふじわら作業所 (現 えんむすび)



旧たんぽぽ作業所

阿下喜温泉のリニューアルが決定

賛成多数で可決

工事請負額：3億4,900万円 契約の相手：大宗建設株式会社（四日市市相生町）

阿下喜温泉は株式会社温泉道場に減額貸付することを、令和4年第1回定例会で決定。今回公募型プロポーザル方式で施工業者を選定したので、工事請負契約を締結するもの

質疑 **Q** 提案理由は、阿下喜温泉を宿泊施設を兼ね備えた施設にリニューアルすることで、観光拠点であるにぎわいの森、アウトドアフィールド等への来訪者を市内周遊につなげる。また、災害時に避難所として利用可能なモバイルコンテナを設置し、平常時には宿泊棟として利用しようとするものがあるが、完成後には株式会社温泉道場へ貸し付けるのではないのか。

A 令和6年4月以降は株式会社温泉道場に貸し付ける。

Q 内容を担保するものは何かあるのか。

A 株式会社温泉道場と結ぶ契約書、あるいは覚書によりきちんと示す。

Q 提案理由を満たすような契約になるのか。

A 今回のリニューアルは、災害時に活用できるモバイルコンテナをいただけるということから始まっているので、それが大前提。

Q モバイルコンテナは阿下喜温泉の付属施設にはならないのか。

A 阿下喜温泉の施設として管理してもらう。

保育園、小学校、中学校の給食費無償化

（公立保育園給食費無償化事業・私立保育園給食費無償化事業・小中学校給食費無償化事業）

9,848万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使って、令和4年11月から令和5年3月まで給食費を無償化することで、子育て世帯を支援する

質疑

Q 令和4年度に限られた事業になるのか。

A 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、今年度に限った事業になる。来年度以降については決定していないが、財源等を考慮しながら継続できるよう検討する。

Q 公立保育園給食費無償化に3歳児未満園児の給食費無償化は含まれるか。

A 未満児は含まれない。そもそも未満児は給食費として徴収していない。

Q 小中学校の給食費公会計化に要する費用は含まれるか。

A 全額給食食材費の支払いに充てるもの。公会計化に要する費用は含んでいない。



石槽小学校の児童が考えたメニュー

レンタサイクル はじめる

（レンタサイクル事業） 547万円

地域回遊を充実するためのサイクリングシェアシステムを構築する

質疑

Q 委託事業の内容は。

A サイクリングシェアシステム構築、レンタサイクルPRツール制作、回遊促進のためのグリーンインフラ環境調査。電動アシスト付き自転車レンタルの実証実験を行い、レンタサイクルの紹介や利用方法を告知するホームページの構築、にぎわいの森で環境調査を行い、気象条件とレンタサイクル利用者の動向などを分析する。

Q 事業を行う場所は。

A 阿下喜駅周辺とにぎわいの森にレンタサイクルをそれぞれ5台設置する。

Q 事業の委託先は。

A 予算成立後に入札などの方法で委託先を決める。

Q これまで取り組んできたレンタサイクル事業との関連性は。

A 以前の事業については、競技用自転車を主に取り扱い、サイクリングイベント等に付随する形のレンタルを推進していた。そのため自転車競技愛好者による一定の利用があっても、観光客の積極的利用につながらず、回遊観光の促進に至らないという課題があった。この課題を踏まえ、電動アシスト付き自転車を導入し、多くの観光客に利用を促して、地域回遊へつなげる実証実験を行いたい。



レンタサイクル（イメージ画）

討VS論

本会議において「賛成」「反対」の意見があったもの

令和3年度一般会計歳入歳出決算認定

賛成多数で認定

反対討論
衣笠民子
17億円の黒字、もっとはやく給食費の無償化に取り組めた

市民温水プールは指定管理者制度で市の収益は無く、すべて市の負担だが運営経費が不明。一方で保育園給食費無償の財源として阿下喜温泉、農業公園の指定管理料をなくすことを盛んに進めようとしている。キャンプ場の整備を進める一方で児童館、放課後子ども教室の場所をないがしろにしている。

17億円の黒字。移住促進効果が大きい給食費の無償化や子ども医療費助成の対象拡大など子育て応援施策をパッケージで行うことができたはず。

賛成討論
伊藤智子
市民の安心と未来を切りひらいた

ワクチン接種が始まり、いなべ総合病院の協力を得て医療従事者と高齢者1万3千人の接種実施計画を迅速に立て送迎バスも運行し、市民に大きな安心感を与えた。感染症拡大防止対策を保育園・学校、自宅療養者支援、給付金支給などの確に進めた。教育費ではICT教育推進、日本航空株式会社のマネー講座など、子どもに貴重な体験を与えた。宇賀溪キャンプ場、市民温水プール、野遊び事業など、未来を切りひらく事業が推進された。

★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成 ●は反対 小川幹則議長は採決に加わらない。(可否同数の場合は議長裁決)

議案名	会派	付託委員会	審議結果	いなべ未来										新風いなべ		いなべ市議団		日本共産党		無党派	
				渡辺一弘	伊藤三保	原田敬司	小川幹則	岡英昭	位田まさ子	種村正巳	林正男	小寺徹翁	伊藤智子	清水隆弘	多湖公	片山秀樹	岡恒和	衣笠民子	篠原史紀	西井真理子	
議案第32号 財産の無償譲渡について(社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会への無償譲渡)	都	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
議案第42号 工事請負契約の締結について(いなべ市阿下喜温泉設計等及び改修工事)	総	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
認定第1号 令和3年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について	予	認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	

(付託委員会／ 総：総務経済常任委員会 都：都市教育民生常任委員会 予：予算決算常任委員会)

国に意見書を提出

- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書
- 防災対策の充実を求める意見書

9月定例会議案 議決結果一覧表

★全会一致で可決および承認した議案等 ※議案名が省略してあります

承認第4号 専決処分の承認を求める…税条例の一部を改正するもの	認定第3号 令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
諮問第3号、4号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める…法務大臣に推薦するもの	認定第4号 令和3年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定
同意第2号～16号 農業委員会の委員の任命につき同意を求める…15人の農業委員を任命するもの	認定第5号 令和3年度水道事業会計決算認定及び未処分利益剰余金の処分
議案第30号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正…職員の育児休業等を取得しやすくするため改正するもの	認定第6号 令和3年度下水道事業会計決算認定及び未処分利益剰余金の処分
議案第31号 財産の無償譲渡…行政財産の有効活用を図るため、特定非営利活動法人快生教学会へ無償譲渡するもの	請願第2号 義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願
議案第33号 市道路線の認定…宅地開発により新しく整備した区間を市道と認定するもの(4路線)	請願第3号 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願
議案第34号 市道路線の変更…起点または終点を変更するもの(4路線)	請願第4号 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願
議案第35号 市道路線の廃止…一般に使われなくなった市道を廃止するもの(4路線)	請願第5号 防災対策の充実を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願
議案第36号 令和4年度一般会計補正予算(第6号)	発議第3号 令和3年度決算審議における事業評価に関する決議
議案第37号 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	発議第4号 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
議案第38号 令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	発議第5号 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
議案第39号 令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	発議第6号 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書
議案第40号 令和4年度水道事業会計補正予算(第1号)	発議第7号 防災対策の充実を求める意見書
議案第41号 令和4年度下水道事業会計補正予算(第1号)	
認定第2号 令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	

一般質問 市民の声を届ける

一般質問は市政全般に対して質問を行います。一般質問の内容についての記事は各議員の責任において掲載しています。なお、要約して掲載しています。



位田まさ子	13
1. 子育て支援の取組「子ども（地域）食堂」について	
2. 災害時に対応できる防災対策について	
原田 敬司	13
1. 広聴・市民要望について	
2. 小中学校について	
3. 高等教育機会の提供について	
伊藤 三保	14
1. 誰ひとり取り残さないいなべ市へ	
2. 空き家の利活用について	
渡辺 一弘	14
1. 移住促進と人口減少対策の取組について	
2. 子ども医療費と予防医学について	
3. 安心・安全な市道の整備について	
小寺 徹翁	15
1. 河川敷の状況・対策を問う	
2. 市内道路の整備について	
伊藤 智子	15
1. 文化・芸術施策の更なる推進について	
清水 隆弘	16
1. 空き家対策を問う	
多湖 公	16
1. 生まれ育つすべての子どもの健やかな成長を願って	
2. いなペインターチェンジ（仮称）完成後の周辺環境について	
岡 恒和	17
1. 水素ステーション整備事業を問う	
2. (株)パシュートと市の契約について	
衣笠 民子	17
1. 新型コロナウイルス感染からいのちとくらしを守る	
2. 子どもの育ち応援、子育て応援を	
3. 公共施設の管理	
篠原 史紀	18
1. 障がいのある方とその保護者が安心・安堵して暮らせるまちに	
2. みどりのオープンスペース構想について	
西井真理子	18
1. 防災意識の向上について	
2. サルによる被害を防ぐために	

子ども・地域食堂に経済的援助は

答／国補助事業1団体50万円援助あり



一動画配信
サイトへ

いなべ未来

位田まさ子

Q 子ども・地域食堂の認識は。

A 地域交流、貧困対策として食堂、食品の配布など活動があることを把握している。

Q いなべ市が実施主体となり支援する考えは。

A 市が主体となると公平性が保たれないため、地域ボランティアの自由な発想で、誰でも気軽に参加できる場とすることが望ましい。社会福祉協議会が中心となって連携し応援する。

Q 健康こども部ができることは。

A 児童福祉課で県の助成金等の申請を支援する。周知活動、SNSでの発信、企業からの情報の把握など引き続き応援を行う。

Q 子ども・地域食堂の活動を広げたい場合、市の経済的支援はあるか。

A コロナ禍における生活困窮支援という条件付きで国の補助事業がある。窓口は社会福祉課で、対象事業につき1団体50万円を限度に補助。

災害時に対応できる防災対策

Q 災害予想、発生時における命を守る情報伝達方法は。

A コミュニティFMを活用した情報伝達システムが主体。他にホームページ、SNSや携帯電話への緊急速報メールも活用しており、さまざまな情報発信をする。

Q コロナ禍での車中避難者や市外避難者に対する情報伝達は。

A 縁故避難、ホテル避難など多様な避難者に、スマートフォンにアプリをインストールし、個別受信機替わりに市内外で情報が得られるようする。

Q その方法だと視覚・聴覚障がい者にも情報伝達できるのか。

A 音声および文字情報で配信が可能であるため視覚・聴覚障がい者にも情報伝達ができる。

大学、専門学校を誘致しては

答／人口流出と大学等誘致は別



一動画配信
サイトへ

いなべ未来

原田敬司

Q 人口流出を防ぎ、若者の人口増加を図るために、市内に大学や専門学校を誘致してはどうか。

A 人口流出は大学、専門学校誘致とは切り離して考えるべき。

広報・市民要望について

Q ホームページから自治会要望を出せるが、自治会長会でしっかり周知されているのか。また自治会要望について要望に対する見解や可否を返信しないのはなぜか。どう改善するのか。

A コロナ禍で自治会長会を開催していないので、自治会長へ取り扱いを周知したい。要望書は件数が大変多く、回答が困難なため、個別に照会してもらうようお願いしている。

小中学校の対応は

Q 豪雨時に学校のグラウンドの土砂や雨が近隣住宅地に流れ出す事態が発生しているが、その対応と点検・対策状況はどうか。また昨今の豪雨に備えて学校は対応できているのか。

A 立ち入り禁止などの応急的な対応、措置をしている。必要に応じて教職員、教育委員会職員で通学路など見回りを実施。

Q 中学校の運動部、文化部の令和7年度までの地域移行について協議はしているか。令和5年度に予算措置をすべきではないか。

A 生徒数減の中でも、多様な体験の実現、教師の負担軽減を目的にこの問題に取り組んでいる。すでにスポーツ協会や芸術文化協会関係者を含めた検討会議を始めている。問題は山積しているが、子どもたちの未来のために、いなべ市らしい部活動を実現したい。令和6年度には予算化を考えている。

ヤングケアラー研修で学んだことは

答／子どもたちの思いに寄り添う大切さ



←動画配信
サイトへ

いなべ未来

いとう みほ
伊藤 三保

Q ヤングケアラーについて、本市でも令和4年度より取り組むと打ち出されたが、どのように取り組むのか。

A 中高生の子どもたちへのアンケート調査により実態を把握するとともに認知度を上げる。市民に対しては広報媒体を利用し啓発を行うとともに、ヤングケアラーの解説や実態調査結果、相談窓口などを記載した冊子を作成し活用する。

Q 市としてできる具体的な支援は。

A ヤングケアラーが置かれている状況を丁寧に把握し、本人や保護者の思いに寄り添い、適切な支援を届けたい。



Q コロナ禍における就労支援、経済的自立の観点から、女性のデジタル人材を育成するべきと考えるが、本市の支援の必要性に対する考えは。

A ハローワークでのデジタルスキルの習得など希望があれば案内する。国から具体的な補助事業が示されれば対応したい。

空き家の利活用について

Q 空き家の実態は。

A 令和3年度の調査の結果、空き家と推測されるのは256棟～389棟。

Q 除却を含めた制度のPR、助言、相談を所有者に提供していきたいとこれまで答弁してきたが、効果は。

A 令和2年度から、中日新聞・三岐鉄道・北勢線・イオンモール東員に広告を出し、啓発に努めたところ、一定の効果が見られた。

Q ライフラインの契約を解除するときに、業者に空き家バンク制度を紹介するチラシや広告を預けて空き家バンク登録を勧めてもらうことは。

A 今まで行っていなかったが検討する。

子ども医療費助成の対象拡充を

答／助成額の推移を見定める必要がある



←動画配信
サイトへ

いなべ未来

わたなべ かずひろ
渡辺 一弘

Q 子ども医療費助成の対象年齢を15歳年度末までとしているが、18歳年度末まで拡充している市区町村は通院：659、入院：715（2019年4月1日現在）あり、子ども医療費の対象年齢拡充は、本市の子育て支援策として、とても重要で有効と考えるが見解は。

A 制度を持続させることが最も重要であると考えれば、市単独事業となる制度拡充に関して、しばらくは助成額の推移を慎重に見定める必要がある。

Q 医療機関での窓口負担がなくなれば受診率は上がり、医療費助成の対象拡大をすれば市の負担も増えるが、それ以上に受診抑制や治療中断は深刻であり、患者救済が優先されるべきだと考えるが見解は。

A 医療機関の窓口で一旦負担をすることは、子育て世帯においては、負担があると考え。それが受診抑制などにつながっている現状があるなら、改善すべきと考えるが、それ以上にサービス拡充のペナルティが国民健康保険税に影響することが大きいと考える。

Q 道路の危険箇所の発見、不具合などに関する市民の通報手段を拡充するため、専用のアプリケーションを利用し、スマートフォンなどから、撮影した写真や位置情報を添えて通報するシステムの必要性を考えるが見解は。

A 修繕が必要となる道路の不具合等に関する市民からの通報は、現状で対応できており、現在のところは専用のアプリケーションなどを導入する予定はない。

市区町村における実施状況（2020年4月1日現在）

（単位：市区町村）

対象年齢	通院	入院
実施市区町村数計	1,741	1,741
就学前	56	3
9歳年度末	10	0
12歳年度末	66	39
15歳年度末	873	895
18歳年度末	733	799
20歳年度末	2	2
22歳年度末	1	1
24歳年度末	0	2

出典：厚生労働省

（乳幼児等に係る医療費の援助についての調査より抜粋）

河川敷の状況・対策は

答／市の計画により整備を実施



←動画配信
サイトへ

創風会

こ 寺 徹 翁

Q 河川敷の整備は。

A 河川管理者としては堆積土砂の撤去に合わせて、立木伐採を進めていく。

Q 県への要望活動、計画、優先順位は。

A 毎年、県単独事業要望を実施し、自治会要望はそのつど県へ要望している。市が管理する河川の令和4、5年度の計画は、いなべ市管理河川維持修繕計画（令和2年度策定）により整備を実施している。県の河川事業は、河川堆積土砂撤去

計画が策定され、計画に合わせた堆積土砂の撤去および樹木伐採が実施されている。また、要望した箇所の状況を確認し、優先度を決めている。

道路の整備は。

Q 道路へ張り出す樹木の安全対策と凍結対策は。

A 樹木、枝は土地所有者が伐採することが前提であり、通知して伐採依頼を行っている。凍結対策は委託業者に除雪作業に合わせ樹木枝の伐採および凍結防止剤の散布、対象路線外は職員が凍結防止剤を配置し、自治会による凍結防止剤の配置も行っている。

Q 過去5年間でどれくらい対応したか。

A 平成29年度から令和3年度の5年間で、樹木、枝伐採の要望は149件あり、市道に関するものが116件で、71件対応した。

Q 令和3年第4回定例会の答弁で「おおむね3年かけて伐採を進めていく」とのことだが、進展は。

A 令和2、3年度で14路線を伐採し、令和4年度は市道米野篠立線ほか1線を順次進めていく。

文化芸術の溢れた憩いの場を

答／現状の施設で実施してほしい



←動画配信
サイトへ

創風会

伊 藤 智 子

Q 今まで何度も文化芸術条例の制定を提案してきた。総合計画の中で振興を図るという事であったが、進展は。

A いなべ市芸術文化協会に業務を委託している。幅広い年代向けに、一昨年は7事業、昨年は10事業実施した。

Q 三重とこわか国体推進室が国体の準備を進める過程で世代間交流を念頭におもてなしの心を育み、ボランティア精神の気運を高め芸術文化の振興に寄与するという事であったが。

A 国体は中止になったが、生涯学習市民大学講座の取り組みの中で、国体推進室が行おうとしていた事を念頭におきながら、その趣旨をふまえた講座を考えている。

Q 市ではこの3年間「元気未来都市いなべ」事業で「運動の習慣化」「適正な食習慣」に取り組んできたが、元気とは心身が健康であると考え文化芸術の振興と共に推進してはどうか。

A 元気とは、心も体も健全な状態であることだと考える。市民やまちが元気であるためには、文化芸術の振興はもちろんのこと地域福祉や生涯学習、子育てなどを総合的に推進する必要がある。今後、「元気未来都市いなべ」の推進を次期の総合計画の推進にあたっての重点取組事項に位置づけ、芸術文化振興などの各施策がどの様に関係するかを明記し、これに基づいて各事務事業を推進していく手法が考えられるので、令和6年度からの次期総合計画の策定審議会で検討していく。



和楽器で交流

空き家の予防的施策の実施は

答／住宅課として現在対策はない



←動画配信
サイトへ

創風会

し みず たか ひろ
清 水 隆 弘

Q 空き家バンクで、平成28年11月までに45件の登録、成約は賃貸が23件、売却は9件の実績だった。その後の実績は。

A 平成28年12月から現在までの登録数は66件。成約は賃貸が12件、売却は24件。

Q 空家等対策の推進に関する特別措置法により、固定資産税情報について、市の内部で利用することができるようになったがどうか。

A 空き家法に基づく空き家対策計画策定のための「空き家実態調査」の場合は連携し、利用している。

Q 市内各部署から空き家所有者情報を集約してデータベース化してはどうか。

A 空き家法に基づきデータベース化に努めたい。

Q 固定資産税納税通知書に空き家のリーフレットを同封してはどうか。

A 全員に送付は可能。委託料は増額になるが、前向きに考えていきたい。

Q 市が相続財産管理人制度を活用した事例は。

A 相続財産を処分すれば債権の回収ができる場合。

Q 相続財産管理人制度のメリット、デメリットは。

A メリットは固定資産の売却益で債権の回収ができる。新たな納税義務者に課税することができ、税の増収につながる。新たな所有者が見つかるので固定資産を管理してもらえる。デメリットは特にない。

いなべ市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画から



増え続ける高齢者単身世帯と高齢者持ち家単身世帯推計

1,240世帯×77% = 955戸

⇒将来空き家となる可能性がある「空き家予備軍」

(高齢者単身世帯) × (いなべ市持ち家率) = 高齢者持ち家単身世帯推計

なぜ育休退園制度を設けるのか

答／制度化はしていない



←動画配信
サイトへ

新風いなべ

た 湖 公
多 湖 公

Q なぜ保育園育休退園制度が設けられているのか。全国的にこの制度の撤廃を求める声が多いと聞かすが、いなべ市が撤廃できない理由は。

A 制度化しているわけではない。子ども・子育て支援法の基本理念は、家庭保育が原則であるため、その考え方に準じて対応している。

Q 保育園により一時預かりの対象年齢が異なるのはなぜか。

A 各保育園の保育室の整備状況により、受け入れできる年齢が異なるため。なお、市の受け入れ対象は満1歳から小学校入学前までとなっている。



市内保育園のようす
(市のホームページより)

Q 妊娠中の相談体制について、専門の保健師・栄養士のスタッフは現在何人で、充足しているのか。

A 現在、専門の保健師9人、栄養士3人が在籍し対応できている。

いなべインターチェンジ(仮称)完成後の周辺環境について

Q 企業を的確に誘致するためにどのように対応していくのか。

A 企業が必要とする面積、インターチェンジまでの距離、河川との距離、民家との関係、造成完了までの期間を聞き取りして適地を検討していく。

Q にぎわいの森から阿下喜商店街へ行く専用の周遊道路がないが、今後建設計画はあるか。

A 専用道路の計画はあったが地権者と折り合いがつかずまわっている。

Q 県道609号線(俗名・山麓道路)を、県にどのように要望していくのか。

A 県道609号線は複数の県道を結ぶ県道整備で、事業として概略設計が進められている。要望ルートの選定を県と協議をしているところ。一日も早い事業着手に向けて要望を続けていく。

購入できなくなった経緯と対応は

答／メーカーが販売受付停止の状態



←動画配信
サイトへ

日本共産党いなべ市議団

おか 恒 和

Q 水素ステーション整備事業に関し、市民から寄せられた情報を確認したところ、燃料電池自動車ミライの購入ができない事態になっていた。購入ができなくなった経緯と対応は。

A 新型コロナウイルス感染拡大や世界的な半導体不足のため受付停止の状態。販売再開の発表があり次第入札予定。

Q 市の資料「グリーン水素ステーション設置と利用計画（概略）」での設置型燃料電池の事業計画および事業額、また給食配送車等での活用計画および事業額はどれだけか。

A 設置型燃料電池は現時点で計画はない。事業額は1基3千万円程度。給食配送車等は担当部署と導入時期や調達方法について協議を進めているが時期は未定。給食配送車は市販化されれば約4千万円となり、リースも検討。

Q 資料では、水素ステーションで、毎日ミライ3台分の水素が発生し、余剰水素を設置型燃料電池などで活用とあるが、事業計画は未定という。資料は十分練って作成されたか。作成部署と時期は。

A 令和3年度末から計画はあったが、6月議会前に都市整備課でまとめた。

(株)パシュートと市の契約について

Q (株)パシュートが使用する市所有のトレーラーハウスは、市が農業公園指定管理者に貸し出し、それを(株)パシュートに貸し出す、「また貸し」状態にある。市の財産を直接(株)パシュートに無償で貸し出せば、地方自治法により議決が必要になる。議決を避けるための「また貸し」ではないか。

A そういうことではない。

地方自治法第96条第1項第6号 議会の議決事項六 条例で定める場合を除くほか、財産を交換し、出資の目的とし、若しくは支払手段として使用し、又は適正な対価なくしてこれを譲渡し、若しくは貸し付けること。

小学校等の社会的検査は

答／1小学校、7放課後児童クラブ



←動画配信
サイトへ

日本共産党いなべ市議団

きぬ ぎさ たみ こ
衣 笠 民 子

Q 小学校、保育所等勤務者対象の県事業新型コロナウイルス感染症社会的検査に保育園はすべて申し込んだ。どのように実施したか。

A 2月に依頼文書が届き園長会で周知。全体で72回、1カ月に1回程度、多い園は1カ月に2回実施。

Q 成果は。

A 保育園としては、保育士の定期的な検査で感染拡大を防ぎ、保護者に安心を与える。職場環境の安心も確保。

Q 2学期は様々な行事を予定。勤務者の社会的検査をすべきでは。

A 任意なので学校長や放課後児童クラブ代表者の判断を尊重。状況に応じて情報提供し、一緒に考えていきたい。

子どもの育ち応援、子育て応援はパッケージで実施を

Q 給食費無償化はコロナ対応臨時交付金でスタート。継続的な実施に踏み出すのか。

A 財源が確保できれば継続できる。

Q 市長は「高額所得者まで無償の必要はない」から「すべての児童生徒無償」へ考えを変えたのか。

A 限定すべきではないとの文科省の審議官の発言に従い変えた。

Q 子どもの医療費助成で所得制限により無償にならない子どもは約300人。600万円で可能。令和3年度決算で17億円黒字のいなべ市。県内10市町で実施の所得制限撤廃はできないか。

A 考えていない。

公共施設の管理は計画的に

Q 大安庁舎を解体、公共施設等適正管理推進事業債を活用し武蔵野市にある複合施設・武蔵野プレイスをイメージした図書館、児童館、市民活動センター、青年の居場所などの複合施設を建設しては。

A 意見として聞く。

庁舎に障がい者向けの案内掲示は

答／玄関付近に分かりやすく設置する



←動画配信
サイトへ

無所属

しの はら しみ のり
篠原史紀

Q 成年後見制度や相続など、障がいのある児童の保護者が高齢になって直面する課題について、早期に啓発する勉強会などを充実すべきでは。

A 出前講座や県で開催される家族向けの研修会を案内するなど充実を図る。

Q 障がい者（児）の福祉のしおりを見やすく改訂すべきでは。

A 後見制度の項目を設けたり、見やすさを工夫したり、改訂に取り組む。将来に備えるべきポイントについては別途チラシの作成を検討する。

Q 障がい者への合理的配慮について、行政職員間で具体的な対応を共有し、理解を促すために詳しい冊子を作成しては。

A 市職員だけでなく、市民への理解促進のため、冊子の作成などを検討する。

Q 障がい者を積極的にサポートする「あいサポート運動」が全国に拡大している。こうした運動に力を入れる考えは。

A 桑員地区内の2市2町および県、相談支援事業所で構成する協議会で情報共有を図り、導入について意見交換を行っていききたい。

Q 障がい者への理解を促進するために、子どもの頃から、障害者の権利に関する条約や合理的配慮について学ぶことは大切だ。交流学級、人権教育の中で学ぶ機会をつくっては。

A 理解の妨げとなっている4バリア（物理的、制度的、文化・情報、心）について児童生徒が学ぶ必要がある。主体的に考え、責任をもって行動できる力を養っていききたい。



障がい者への合理的配慮をまとめた冊子
(名古屋市)

実績を活かし自治会訓練の推進は

答／事例を参考に訓練を行いたい



←動画配信
サイトへ

無所属

にし い ま り こ
西井真理子

Q 避難行動要支援者名簿を活用し避難訓練を行った自治会と内容は。

A 藤原町古田自治会で、支援者が要支援者を自宅へ迎えに行き、避難させた。訓練を通じて迎えに行く手段や介助の方法など新たな課題を見つけることができた。

Q 今後避難訓練をする際は専門の外部人材が指導していくのか。

A 要望があれば専門の外部人材が指導に行く。

Q 要支援者を把握した訓練は素晴らしい実績。経験や課題を市内の自治会へ共有し避難行動要支援者名簿、避難訓練の推進を行う考えは。

A 要望があれば名簿を活用した事例を参考に訓練を行っていききたい。

Q 県内のある中学校では、SDGsの取り組みで子どもたちが地域の人たちを避難場所となる学校に案内し、地域の防災意識を高めた。いなべ市の中学校もSDGsに積極的であり、推進のまちとしてこのような取り組みをしてはどうか。

A 防災課としても教育委員会と連携し、このような訓練ができるように進めたい。

サルによる被害を防ぐためには

Q 被害を減らすために、市民へどのように啓発しているのか。

A 爆竹、ロケット花火を無償配布。身近にあるもので大きな音を立てて追い払うことを伝えている。また、集落全体で取り組んでもらえるよう、出前講座を開催しているので、要望があれば出向いている。



出前講座開催時の資料



クイズの応募はがきに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見や感想を紹介します。紙面の都合上、すべてのお声を掲載できませんのでご了承ください。たくさんのお声をありがとうございました。

- 市民の大切な税金を“なあなあ”の関係で使われる事なく、市民の代表である議員さん、目を光らせていて下さい。 74歳
- 図書館について
何箇所かに分かれていて利用しづらいです。私は小説が好きでよく利用しますが、同じ作家さんの作品でも北勢と大安に別で置かれている等、一度に探すことが出来ません。一ヶ所にまとめて新しい図書館ができると嬉しいです。できなくても、もっと利用者が利用し易い図書館作りをお願いします。 42歳
- 衣・食・住、値上がりで高齢者はたいへんです。 75歳
- コロナの関係で各行事が中止になりさみしいです。 82歳
- 夏休み親子議会体験ツアーはとても良い企画ですが、一般大人にも議会体験ツアーがあるといいと思います。 71歳
- 私もいなべ市に住んでみたいと思いました。 71歳
- 高齢者にやさしい安心安全なまちづくりよろしくをお願いします。議会だより楽しみにしています。 79歳
- 議会だよりについて、市民の声を届ける掲載は「重要」と思います。 74歳
- 夏休み親子議会体験ツアー、楽しそうだと思いました。いつか子供が大きくなったら参加してみたいです。 27歳
- ☆議会だよりで勉強…とMy timeを楽しんでいます。ちょうどよい量で～す。それに何よりラストはクイズっていうのがやる気おこります。
☆一度は市議会を拝見したいです。
- バイオトイレ・コンポストトイレを見たり使ったりできる場所を作ってほしいです。微生物処理による循環・リサイクル型のトイレから、SDGsについて学べる。排せつ物が、どうしたら安全な物に変わるのかわかっていれば、災害時に役立つと思います。 49歳
- 猿の被害は毎年です。とうもろこし、きゅうりなど今年は全面に高いあみの棚をしたのですが食べごろになるとあみと棚の間から入りすべて食べられました。苗を買ってきて楽しみにしていたのですが！下水道料金値上げはすべきでない！に賛成です。市民の生活をもっと考えていただきたいです。 63歳
- 内容によってフォントや字体を変えていて読みやすい議会だよりでした。物価の上昇に伴い給食の献立も食材の調達が難しくなるので、行政で補助を増やし、子供の食の安全を守ってほしいです。 36歳
- よむギカイの記述で気になった記述は「住民所得は約700万円(全国平均約440万円)と高いが811億円が市外へ流出」でした。これを解決するためには、いなべ市にさらに多くの優良な企業に来てもらって、従業員としていなべ市民の多くを採用し、いなべ市でたくさんのお金を使ってもらうことが必要と言っているように思います。その一方では疲弊していく農家や農地を救済しなければならず、問題が山積しているという印象です。少数の議員さんだけでは手に余ることでしょう。住民の幸せを前提にした上で、強力なプロジェクトチームの編成が必要と思います。 63歳
- いつも議会だよりを見ています。早く養老山麓道路作ってほしいです。鞍掛新トンネル化してください。お願いします。 34歳
- 写真の配置や色づかいなどはとても見やすくてよかったと思います。委員会活動の報告は写真付でわかりやすくてよかったです。各委員会ですら事務調査を開始したのもよいと思いました。 60歳
- 「議会だより」は編集も優れ、読んで理解もできて満足です。
3点意見を
 - 娯楽誌でないのに、余り多色刷りでなくてもよいのでは。
 - 全ページ(タテ軸)の同一文言は朱色で読みづらく必要性もないのでは。
 - 11ページ「政務活動費報告」は数字が見せ場、色が薄いです。通常の文字、数字でよいのでは。 84歳
- 各市町村の議会の様子を一般の人が見学できますように…。 65歳

クイズの解答

ご応募いただき、ありがとうございました。正解者の中から、当選者15名の抽選を厳正に行いました。当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

正解は

- 問1 恵那
問2 ①サル
問3 ②親子

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

編集後記

肌寒さが身にしみる季節となりました。「よむ議会」No.75号はいかがだったでしょうか。

No.72号から広報委員として編集に携わり、4号目となりました。毎回の委員会では、表紙はどれがふさわしいか、内容については、文字の大きさや使われる色など、どのようにしたら読みやすくなるかと、たくさん意見を出し合っています。

7月29日には、広報研修会にも参加し、市民に伝わりやすい議会だよりについて学びました。

どうしても堅くなりがちな議会だよりですが、皆さまに興味を持ってもらえるよう、広報委員一同、これからも工夫していきますので、たくさんのご意見をもらえれば幸いです。

12月定例議会について(予定)

- ◆開会日11月29日(火)
- 一般質問 ...12月 6日(火)・12月 7日(水)
- 総括質疑12月13日(火)
- 予算決算常任委員会12月13日(火)
- 総務経済常任委員会・分科会...12月14日(水)
- 都市教育民生常任委員会・分科会...12月15日(木)
- 予算決算常任委員会12月21日(水)
- ◆閉会日12月23日(金)

インターネット配信



中継配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp


録画配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp

録音放送

いなべFM(86.1MHz)で議会の録音放送を聴くことができます。

詳しくはいなべ市ホームページにてご確認ください。

議会の傍聴

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。

(新型コロナウイルスの感染状況をみて変更になる場合があります)

受付場所：いなべ市役所議会棟2階

いなべ市議会 議会事務局

〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地
TEL 0594-86-7848 FAX 0594-86-7872
<https://www.city.inabe.mie.jp/gikai/>

